

色ベタ (前号流用)  
(or スミベタ)35<sup>31</sup> →  
28<sup>31</sup>

流用

16a ロダンDB 19H  
野口 翔平  
NOGUCHI Shohhei  
9a 見出し MB 31  
21H  
11a 新ゴL 14H  
埼玉医科大学総合医療センター  
産科麻酔科  
18  
愛知県出身  
名古屋市立大学・2011年卒業 10a 新ゴL 13H

<所有資格> 11a ロダンDB 16H  
医学博士 / 日本麻酔科学会麻酔科専門医 / 麻酔科  
標榜医 / 日本周術期経食道心エコー認定医  
(JB-POT) / 日本区域麻酔学会認定医 / 日本専門医  
機構産婦人科専門医 / がん治療認定医

11a ロダンM 16H  
22w 詰

## ■座右の銘

イメージできることは実現可能

## ■医療に関する特技

鉗子分娩・脊髄麻酔

## ■これからの目標

- ・麻酔科医が当たり前に産科麻酔を行い周産期医療を支える未来
- ・自分らしい最期を迎えられる緩和と支持医療を行う
- ・この人に出会えてよかったと思える人間へ成長する

## ■message

12a ロダンB 18H  
利己心と社会利益の最大公約数を常に全力で思考してください。思案したことを実行するためのスペックと人脉は30代までに形成されます。多くの人に会い、多くのことに挑戦し、失敗して、成功してください。

## みんなのプロフィール帳

## ◆ 医師を志した動機 ◆

12a ロダンDB 24H  
高校3年生の夏に友人の父親が心臓移植を受けたこと。 11.5a ロダンM

## 医学部入学からこれまでの歩み

2003年夏：高校3年生で医師を志す

友人の父親が米国で心臓移植を受けることを知る。友人のために何もできない自分を恥じて医師を志す。が、半年で間に合うはずもなく1年浪人する。

2005年：名古屋市立大学医学部 入学

循環器科医になると思っていたが、実習でお産に感動し、また産婦人科のカバー範囲の広さに魅了される。自炊生活が始まり料理の楽しさを知る。

2011年：聖隷浜松病院 初期臨床研修

内科外科救急のバランスのよい病院で初期研修を開始。自炊する時間がなくなり外食（コンビニか牛丼）漬けになる。

2013年：聖隷浜松病院 産科周産期科専攻医、結婚

周産期医療とがん治療を経験していく中で、「自分らしく生き、産み、亡くなること」を支持する医療をしたいことに気付き、麻酔科学を習得することを決意する。結婚し週末に料理をするようになる。日本酒の素晴らしさを知り、そこからワインにはまる。

2017年：埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科専攻医

日本の産科麻酔の始祖、照井克生教授の下で麻酔学を学ぶことを決意する。産婦人科としても働き続けることで技術と知識を維持する。当直明けと週末の料理が生き甲斐になる。ワインセラーを購入する。

2019年：麻酔科標榜医 取得、日本周術期経食道心エコー認定医 (JB-POT) 取得  
International Peripheral Nerve Block Program (フリードリヒスハイム整形外科病院、ドイツ フランクフルト) に参加し、欧州の医療に興味をもつ。ドイツパンとドイツワインに感嘆する。

2021年：日本麻酔科学会麻酔科専門医 取得

産科麻酔をサブスペシャリティとして選択。コロナ禍を通じ料理の実力が上がる。

2022年：医学博士取得、書籍に携わる

研究を通して、知的好奇心を揺さぶり、現場にも役立つエビデンスの創出を目指す。師、照井克生教授とともに『硬膜外無痛分娩 - 安全に行うために -』を改訂（第4版）する。

2023年：一般社団法人 Niht を立ち上げ、日本区域麻酔学会認定医 取得、書籍の出版

Niht にて無痛分娩のオンライン助産師教育プラットフォーム「飛ぶ無痛 Café」を展開する。日本初の助産師向け無痛分娩専門書『無痛分娩パーフェクトガイド』を出版しアマゾンベストセラー。念願のブルゴーニュを訪れる。

2024年：ルーヴェン大学病院 (UZ Leuven, ベルギー) Obstetric Anesthesia Fellowship

国際的な産科麻酔の最前線で臨床を行う。文化、多様性や言語力など医療の根幹を学ぶ。現地の食材を扱えること、安く欧州のワインを買える幸せを噛み締める。

2025年：埼玉医科大学総合医療センター、川越産科麻酔フェロウシップディレクター 就任

臨床・研究・教育の3本柱に加え、大好きな料理とワインの熱が止まず時間はいくらあっても足りない。